

## 「革新的将来宇宙輸送システム実現に向けたロードマップ検討会」 における今後の検討事項

文部科学省 研究開発局  
宇宙開発利用課

### ○ 今後の検討事項について

- ・中間取りまとめ第 6 章の「本検討会での引き続きの検討事項」の中で、特に以下(1)～(3)について議論を行う。
- ・「国際協業の在り方」及び「利用ミッション動向を含む将来市場環境及び宇宙輸送事業者に関する継続的な分析・評価」については、事務局から報告を行い、本検討会における議論に役立たせる。

### (1) 官民の役割分担

- 「基幹ロケット発展型」、「高頻度往還飛行型宇宙輸送システム」の 2 本立ての研究開発を官民共同で推進していくための、官民の協議体制、官による支援方策等
  - 1) 要素技術を絞り込むための国と民間事業者等との協議体制について
  - 2) 民間事業者等に事業予見性を与えるために必要な国の支援方策について

### ○国と民間の研究開発の分担（知財の持ち方について）

- 1) 部品/材料、技術等の低コスト化に資する知財の持ち方について

### ○これまでの我が国の宇宙開発で、JAXA や民間の培われた技術や知見などの効率的活用のための仕組みづくり

- 1) 「高頻度往還飛行型宇宙輸送システム」開発に取り組む民間事業者等が、官民によるこれまでの研究開発を通じて得られた成果を活用できる体制の構築について(JAXA 航空部門を含めたリスト作成)

### ○共同開発を行う民間事業者等の確認方法

- 1) 「高頻度往還飛行型宇宙輸送システム」の共同開発を行う民間事業者等の確認方法について（国の関与について）

### ○我が国における宇宙輸送システムの自立性確保のために、国が責任を負うべき要素技術の維持方策

- 1) 我が国が要素技術を獲得/蓄積して、宇宙輸送システムの自立性の維持/発展を推進していくために、国が責任を持って主体的に行うべき方策について

### (2) 射場・スペースポート

#### ○機体以外のシステム（地上施設設備・打上安全管理）の開発、運用主体と役割分担

- 1) 「高頻度往還飛行型宇宙輸送システム」実施の際に地上で必要なものについて
- 2) 民間機打ち上げの射場管理や安全確保等に関する官民の役割/責任について

### (3) 制度的障壁

#### ○法律/条約事項、型式証明等

- 1) 有人旅客飛行実施等の際に我が国及び外国との関係で必要な法制度等について